

出雲力で新時代をリードする 元気な地方都市をめざして



所 信

昨年9月には、令和4年度から8年間の本市のまちづくりの道しるべとなる、出雲市総合振興計画「出雲新話 2030」を策定しました。本市の最上位計画である本計画を基に、着実に各種施策に取り組み、将来像「出雲力で 夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち」の実現に向けて邁進してまいります。

市政運営を行うにあたっては、議会そして市民の皆さまとの対話が欠かせません。あわせて、民間事業者や団体の皆さまとの連携も重要です。さまざまな方との共創のもと、「出雲新話2030」の基本理念である「誰もが」「どこでも」「いつまでも」、すなわち、みんなが活躍する、地域の魅力を生かした、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

国は、本年5月から、新型コロナウイルス感染症をインフルエンザと同様の5類感染症に移行する方針を示し、新たな局面に入ります。また、昨年からのロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮情勢など、激動の国際情勢により、かつてない安全保障環境の転換期を迎えています。そして、エネルギー・食料等の物価高や人口減少・少子高齢化、地球温暖化をはじめとする地球規模での環境問題など、時代は目まぐるしく変化しています。

このような国内外の動向に的確かつ迅速に対応し、誰もが笑顔で暮らせる豊かな未来を築いていくとともに、更に「選ばれるまち」をめざしてまいります。また、「出雲新話 2030」において、目標としている人口17万人をキープし、地域経済の発展の礎となる「市内総生産」を引き上げ、市民の皆さまの暮らしの満足度を高める、「経済と暮らしの好循環」を生み出し、「出雲力で新時代をリードする元気な地方都市」を創造してまいります。

市政運営のポイント

1. 社会経済活動の再生と、更なるステップアップに向けた取組

- ・新型コロナウイルス感染拡大により疲弊した地域経済の再生と、物価高騰などの急激な社会環境の変化に対応した市内中小・小規模企業の多様かつ持続的な経済活動を支援
- ・令和7年度に開催される大阪・関西万博を見据えた今後3年間の新たな観光戦略「～出雲力で地域と人が輝く～持続可能な観光地域づくり」の実現にチャレンジし、インバウンドを含む交流人口・関係人口を拡大

2. 安全・安心なまちづくり

- ・災害情報管理システムの運用を開始するとともに、災害時専用ホームページの開設による迅速な情報発信
- ・国・県と連携した流域治水対策に取り組み、ハード・ソフト両面の防災・減災対策

3. 人口減少対策と中山間地域振興

- ・出会い・結婚・妊娠・出産、子育て・教育の各ライフステージに対する総合的な支援として、子育て環境を整えることに重点的に取り組み、「子育てするなら出雲で」と思ってもらえる施策を展開
- ・夢をもち未来を切り拓く、しなやかでたくましい人の育成をめざした義務教育の充実
- ・中山間地域における地域おこし協力隊員の増員や、新規漁業者への生活支援などを行い、地域を支える人材確保策の強化にあわせ、安心して住み続けたいと思える環境・地域をつくるための施策を展開

4. 民間企業等と連携し、本市の活力を高める取組

- ・ITやAI等先進技術の活用や、産学官金連携など先駆的・意欲的に活動を行う民間企業等と連携
- ・バルメイト出雲にIT企業スタートアップ支援施設を整備し、この拠点を中心とした企業誘致や人材確保・育成を進め、人が企業を、企業が人を呼び込む好循環を生み出す、DX先進エリア「Tech Hub Izumo」をめざす

5. デジタルファーストの推進

- ・誰もがデジタル技術を容易に活用できる環境整備
- ・文化・スポーツ施設等の利用予約システムや、マイナンバーカードを活用して申請書等への記載を簡略化できるなど「書かない窓口」の、実現に向けた検討

6. 脱炭素社会、環境保全への取組

- ・「ゼロカーボンシティ出雲」の実現に向けた再生可能エネルギーの促進と、豊かな自然環境を次世代につなぐ施策を推進
- ・トキの放鳥候補地「トキの野生復帰を目指す里地」選定を受け、トキをシンボルとしたまちづくりを強力に推進するため、農業、産業、観光、環境など総合的な取組が展開できる体制を整備





海・山・大地の恵みを生かす

- ◆栽培環境に適したスマート農業技術の実証・普及
- ◆10年後の農地利用の姿を明確化する「地域計画・目標地図」の策定に合わせ、農業の将来の在り方などを地域で話し合い、担い手を育てる仕組みづくりを構築
- ◆森林環境譲与税を活用した市産材の生産拡大と利用促進

地場企業が地域を支える

- ◆本年4月に新たに発足する「NPO 法人ミライビジネスいすも」と連携した市内企業の事業活動を支援
- ◆産学官金連携やセミナーなどを通じた、ものづくり企業の支援
- ◆事業承継の環境づくりと、創業希望者の掘り起こしから創業後のフォローまでの一貫した支援

多種多様な企業立地を

- ◆斐川地域の新工業団地の本格的な造成工事に着手

「人財力(じんざいりょく)」で地域産業を“前へ”

- ◆学生就職支援窓口の利用を促し、地元就職への効果的なマッチング機会を提供することで企業の人材を確保
- ◆民間企業と連携した都市部や海外からの高度IT人材の誘致活動や人材交流



ドローンを使った農業散布



斐川地域内工業団地群



誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに

- ◆コミュニティセンターへの分散型備蓄倉庫整備
- ◆斐伊川・神戸川治水事業の大橋川改修の推進、斐伊川本川堤防や宍道湖西岸堤防の整備、神戸川下流地域の地盤沈下対策工事、新内藤川など河川改修の推進等を、国・県へ働きかけ
- ◆市街地の浸水対策として、令和4年度に調査した箇所対策工事に向けた詳細設計
- ◆老朽危険空家の除却を促進するための助成額を拡充
- ◆消防団員の処遇改善と担うべき役割に即した組織体制への見直し

未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ

- ◆住宅用太陽光発電設備等の導入補助、民間事業所への設備導入に向けた補助制度の創設
- ◆新たに整備する公共施設への太陽光発電設備の導入
- ◆日々の生活において賢い選択をする「COOL CHOICE (クールチョイス)」の取組促進
- ◆フードバンク事業などによる食品ロスの削減をはじめとするごみの減量化、再利用・再生利用、適正処理の推進
- ◆トキの放鳥実現に向け「出雲市トキによるまちづくり推進協議会」の体制強化



出雲で生まれたトキ



期待(来たい)が膨らむ観光のまち出雲

- ◆新たな観光戦略でめざす姿
 - ①周遊滞在・消費促進、高付加価値化、通年化などによる「出雲力を生かした経済効果の最大化」
 - ②中間振興や産業振興、関係人口の創出、自然や文化の継承など、観光を活用して多様な地域課題に貢献
- (具体的施策)
 - ▶観光施設情報等のDX推進や、バスツアー等による交通手段の充実
 - ▶「365日楽しめる出雲」と「第二のふるさと出雲」をコンセプトとして、市内消費の拡大や関係人口創出につながるような戦略的コンテンツの充実と高付加価値化 など

「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び

- ◆移住希望者に本市の様子を体感してもらう「お試し居住助成金」の創設
- ◆移住者の住まいに係る固定資産税等相当額の助成制度の拡充
- ◆未婚・晩婚化対策として、県などと連携した新たな手法「メタバース婚活」導入による、出会いの場イベント等開催

ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ

- ◆出雲縁結び空港における国内外の新規路線の拡充に向けた働きかけ
- ◆空港の機能強化について、周辺住民の生活環境に配慮しながら、関係機関へ働きかけ
- ◆令和6年度の開通をめざす出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の早期完成に向けた働きかけ
- ◆スマートインターチェンジの整備に向けた検討

あのまち・このまち 出雲を結ぶ

- ◆中海・宍道湖・大山圏域市長会による観光、産業及び環境分野を柱にした取組推進
- ◆出雲の国・斐伊川サミットによる「奥出雲おろち号」のラストランに向けた事業
- ◆「神話の縁結びかみがたりネットワーク」及び「灯台ワールドサミット」の本市開催による都市間交流の促進

いにしへの「財(たから)」を守り、活かす

- ◆国の重要文化財「旧大社駅本屋」の保存修理事工と「日御碕神社」鳥居の保存修理事工への補助
- ◆国史跡、「田儀櫻井家たたら製鉄遺跡」越堂たたら跡のガイダンス施設整備



出雲縁結び空港



「産みたい」「育てたい」を応援

- ◆出産・子育て応援交付金事業の継続と相談支援の充実
- ◆子ども医療費助成対象に中学生の通院費を新規追加（令和5年10月～）
- ◆保育所の増改築や修繕等の補助、保育士の確保や保育補助者の配置支援
- ◆全ての市立幼稚園において長時間預かりを実施
- ◆市設置の児童クラブ整備や職員確保による受入体制の充実
- ◆ヤングケアラー相談窓口の新設
- ◆子ども食堂を運営する団体へ支援し、地域における子どもの居場所や交流の機会を確保

いつまでも元気、ずっと現役で

- ◆胃内視鏡検診など各種がん検診の受診しやすい体制整備

ぬくもりのある福祉サービスを

- ◆地域福祉において、包括的に相談を受け止め寄り添った支援を行う体制を強化
- ◆就労支援や一時的な宿泊場所の提供などの自立支援により生活困窮者を支援
- ◆「第7期障がい福祉計画」及び「第3期障がい児福祉計画」策定
- ◆「第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定



地域特性を生かして安心な医療を

- ◆「総合医療センター経営強化プラン」策定

地域とともに持続可能な中山間地域を

- ◆地域の未来像となる「まちづくりビジョン」の作成支援
- ◆大学や企業と連携したフィールドワークやワーケーションの取組推進
- ◆出雲地域南部、佐田、多伎、湖陵地域の防災行政無線を新規格タイプへ更新
- ◆古民家等を活用したIT企業の誘致
- ◆中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金の取組組織の活動継続に向けた支援
- ◆佐田地域での「農村RMO（地域運営組織）」の形成に向けた取組支援



耕作放棄地復活プロジェクト

出雲のインフラを整え「安心」を支える

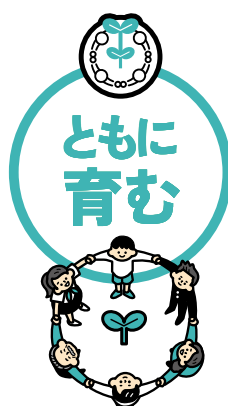
- ◆「都市計画マスタープラン」策定着手
- ◆街路や幹線市道整備10か年計画に基づく道路の整備
- ◆上下水道料金等審議会の答申を尊重し、下水道使用料を見直し
- ◆平田及び斐川行政センター整備
- ◆デマンド交通の検討、実証実験

デジタルの力で未来をデザイン

- ◆行政手続のオンライン化
- ◆高齢者向けスマホ教室の開催



スマートフォン教室



家庭・地域・学校で育む出雲の教育を

- ◆ICTを効果的に活用した授業改善
- ◆中学校区への地域学校協働活動推進員の配置拡大による、家庭・地域・学校の連携協働の一層の推進
- ◆いじめ・不登校対策における学校の対応能力向上、個々の状況に応じた多様な支援
- ◆特別支援教育におけるきめ細やかな支援体制
- ◆中学校部活動の地域移行の検討
- ◆分身ロボット「OriHime」（オリヒメ）を出雲科学館で展示・活用
- ◆学校の耐震化対策：第一中学校南校舎の改築工事、今市小学校北校舎及び大津小学校屋内運動場の工事に着手
- ◆教室不足対策：高松小学校の増築、西野小学校及び斐川西中学校の改修工事
- ◆平田4地区の新設統合校である旅伏小学校の建築工事に着手

人が地域を、地域が人を育てる

- ◆コミュニティセンター職員の社会教育士等の資格取得経費の助成
- ◆コミュニティセンター耐震化の順次改修、オンライン会議や各種活動での積極的なIT活用
- ◆「自治会支援アドバイザー事業」のモデル地区を新たに2地区設定
- ◆市から自治会等へ依頼しているさまざまな業務の負担軽減についての全庁的見直し



出雲科学館 理科学習



ともに
楽しむ



芸術文化で豊かな出雲を

- ◆出雲総合芸術文化祭の開催や出雲芸術アカデミー等の活動を通じた芸術文化推進

スポーツで元気な出雲を

- ◆令和7年のインターハイ（なぎなた競技）、令和12年の国民スポーツ大会（陸上競技など全10競技）の成功に向けて、県及び関係団体と連携し準備
- ◆女子プロサッカーリーグ参入をめざす「ディオッサ出雲FC」支援
- ◆新体育館の令和6年4月の開館に向けたプレイベント

誰もの「学びたい」を実現

- ◆市内7図書館のネットワークを生かした特色ある図書館活動の充実

出雲の魅力、発信します

- ◆「日本の心のふるさと出雲」応援寄附事業の魅力ある新たな返礼品開発や寄附受付サイト追加



整備が進む新体育館

組織・機構改革

- ◆産業・観光振興、インバウンド推進の取組強化

経済観光部

産業政策課
商工振興課
観光課
観光課インバウンド推進室

商工振興部

産業政策課
商工振興課

観光交流部

観光課
インバウンド推進課

- ◆脱炭素社会実現に向けた取組強化

地域環境部

環境エネルギー部

- ◆多角的、広域的な取組が必要な事業の推進

政策企画課内に「プロジェクト推進室」を設置

令和5年度当初予算の概要

- ◆一般会計の総額893億円。新体育館、平田・斐川行政センター及び平田4地区統合小学校の整備費の増などにより、令和4年度当初予算と比較すると、11.3%の増
- ◆特別会計の総額414億円。国民健康保険事業や介護保険事業における保険給付費の減などにより、対前年度1.8%の減
- ◆一般会計と特別会計の当初予算総額は、1,307億円で、対前年度6.8%の増



結 び

本年は、「^{みずのとう}癸卯」の年であり、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年といわれています。

先に述べた施政方針の各施策を着実に実行し、市政が大きく前進するために、**私たちが官民連携のコーディネーター役となり、市民一人一人がそれぞれに持つ「出雲力」を発揮でき、心の豊かさを実感できる、持続可能なまちづくりを推進してまいります。**

人のため世のために尽くす心をもって、事に当たるといふ「**利他の心**」を説かれた、稲盛和夫氏の言葉を常に心に留め、私自身も**市民の皆さまの幸せを常に考え、市政を「前へ」進めていくことをお誓い申しあげ、新年度の施政方針といたします。**



令和5年度市長施政方針の全文はこちらをご覧ください。

おたずね／政策企画課

☎ 21-6614 FAX 21-6752

メール seisaku@city.izumo.shimane.jp